



POLICY MAKERS — LAB

Policy makers lab Journal

第3号(2023年6月)

日本における生物多様性ビジネスの最前線 ～事業課題の考察と今後に向けた提言～

田中雄揮、井戸萌愛、坂本雅純、坪田藍、平野玲

ローカル・スタートアップ・エコシステムの構築に向けて

香月 稔

沿岸漁業のカーボンニュートラル・サステナビリティ実現に向けた課題と対策

～愛媛県今治市宮窪町をケースとして～

柳本 友幸

Policy makers lab ジャーナルVol.3発刊に添えて

Policy makers lab(PML)は、世の中を良い方向に変革したいという民間及び官僚の有志が、互いの知識の共有や政策立案に向けた議論を通じて、既存の考え・枠組みにとらわれない政策アイデア集を作るための場として設立されました。

当初4名で出発したPMLも、第四期メンバーを迎えて会員37名となり、生物多様性ワーキンググループ（WG）や医療・ヘルスケアWGなどの個別の活動も始動しています。

我々は10年後に、現場感とマクロ感を両立し且つ洗練された政策議論コミュニティとなることを目指しています。引き続き、コミュニティの質を第一としつつ、規模も着実に拡大していきます。

今回、本会Managing partner及びResearch fellowによる、政策案二編、及び環境省とのディスカッションを含む取組をまとめた報告書一編を内容とする、Policy makers lab ジャーナルVol.3を発刊できることを嬉しく思います。

現場の確かな問題意識に根ざし、かつ構造的な課題の解決を志向する。そんな政策案こそが世の中を動かす。今回も、この理想の下に、現実とも向き合い、本当に意味のある政策はどんなものなのか、考え抜いた私たちの歩みを御覧いただければ幸いです。

2023年6月

Policy makers lab代表 福岡 功慶